



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者
大分県議会・県民クラブ
守永 信幸
〒870-0022
大分市大手町3-1-1
TEL 097-506-5088
FAX 097-538-0136

世界一と誇れるまちづくり 流しそうめんでギネスに挑戦

昨年10月21日に、流しそうめんの距離のギネス記録に竹田市の団体『竹姫』（安倍美緒代表）が挑戦し、これまでの記録保持者「長野県高森町あったかキッズ」の3,515.42mを上回る4031.76mに成功。ギネス記録を更新しました。この取り組みについて『竹姫』の代表安倍美緒さんにお話を伺いました。

安倍さんは、2018年に竹田市でドライフラワー専門店を開業。2019年には、母親3人組で「竹姫」という団体をつくり、「竹田をもっと好きになる」をコンセプトに活動。マルシェなど女性や子どもたちが活躍できるイベントを企画運営してきました。

彼女が流しそうめんに着目したのは、子ども達との思い出。おじいちゃんが竹を切って樋（とい）をつくり、おばあちゃんがそうめんを茹でて、樋に流し、子ども達がキャーキャー言いながら家族で楽しく食べたという記憶から、流しそうめん竹田市を世界一にしたいと考えたそうです。

新型コロナ禍からの弾みに

併せて新型コロナ禍から日常を取り戻す動きが出てきたので、彼女が「やろう」と声を上げたとのこと。しかし竹樋を作るのに必要な大量の竹をどこから切り出してくるのか、誰が作業するのか、何をすることも技術がなく、お金がある訳でもない。チャレンジに必要なものが何も無いところからのスタートでした。

世界一をめざした呼びかけ

竹田市は毎年11月、城下町で約2万本の竹灯籠を灯す『竹楽』が開かれます。竹樋作りに協力してもらおうと、竹楽を主催するNPO法人の代表に声を掛けたのですが、挑戦が竹楽直前の10月であることから断られてしまいます。

それでも諦めずに周囲に声を掛け続けると、竹田市内でカフェを出している大分大学の学生グループ7人が協力してくれることになり、竹樋作



▲竹樋の節を摂る作業を手伝う子ども達

りの膨大な作業を担ってくれました。竹樋の加工作業については、竹楽の主催者が道具の貸し出しや、技術指導をして下さったとのこと。個人だけでなく企業の協力者も徐々に増え、様々な場所で募金の呼びかけなども行いながら、輪を広げていきました。

地元の測量会社が、無償で竹樋を設置するコースを測量し、約4kmの図面ができ上がり、それを持って企業を訪ねると、本気度と信頼性が高まり、応援頂ける企業等が増えていったと言います。市の後援も頂き、切り出した竹の保管と加工は、廃校となった中学校の体育館を使わせてもらったそうです。



達成感と自信と誇り

挑戦日の一週間前から現地に資材を運び込み、現地で支柱を組み

▲ギネス認定証を受け取る 安倍美緒さん

竹樋を繋げていきました。大勢の協力者が見守る中、そうめんを流しました。あの思い出を共有するお子さんも流れるそうめんを追ったそうです。約1時間半をかけて約60グラムがゴールに流れ着き、ギネス記録を塗り替えることが出来ました。

流しそうめんを成功させるために1500人もの方々が関わり、1000人以上の方々が作業に参加。ギネス記録を得たことで、竹田の思い出として参加者の心に刻み込み、仲間意識も強まったことと思います。

皆さんの地域でも何かを始めて見ませんか、まずは声に出すことから。

暮らしを豊かにするために

～子どもから高齢者まで笑顔に～

2024 第1 回定例県議会（3 月議会）は、2 月 26 日から 3 月 27 日までの 31 日間を会期として開催されました。3 月議会は '24 年度当初予算が主に審議されます。特に今回は佐藤樹一郎県政となって初の本格的な予算審議でもありました。

全体として広瀬県政を継承した予算となっていますが、地域経済の好循環の創出に向け先端技術に力を入れる姿勢が見受けられ、次世代空モビリティ産業促進事業として空飛ぶ車など次世代モビリティ事業への参入に挑戦する県内企業を支援する事業を組み立てています。また広域交通ルートについても東九州新幹線の有り様について議論を深めようとしており、四国新幹線との関わりについても意欲的な姿勢です。四国と大分県との交流人口の増大に向けての議論は積極的に交わすべきではありますが、豊予海峡ルートについては、費

用対効果と安全性についてしっかり議論し、県民の意見を問わなければならないと考えます。

子育て満足度日本一や健康寿命日本一

をめざす施策に重点を置きながら、子どもたちや子育て世代、高齢者まで安心して暮らせる大分県づくりを進めていかなければなりません。行財政の運営をしっかりとチェックし、職員の皆さんとも協力しながら、県民が心豊かに暮らせる大分県づくりに取り組んで参ります。



▲予算説明をする知事

地域経済の好循環創造に向け 賃上げ枠設定の事業を拡大

昨年度の補正予算で様々な補助事業に、一定の要件を満たす賃上げを実施する場合に補助率を引き上げたり、補助上限額を引き上げたりする事業が設定されるようになりました。昨年度は3事業

で実施していたものを、今年度は10事業（別表参照）に拡大して、中小企業の賃金引き上げの支援をしています。地域経済の好循環を作り出すには、まずは賃金の引き上げから意識しての事業の組み立てです。具体的な要件は事業所内の給料・賃金等支給総額が事業実施前と比較して1.5%以上増加していることです。

また、生産性向上により持続的な賃上げを実現していくために、事業場内の最低賃金を一定額以上引き上げた県内の中小企業・小規模事業者が行う設備投資等に助成する中小企業等業務改善支援事業なども準備されています。

県内中小企業の物価高騰対策や労働力の確保に一定の効果が現れることに期待したいと考えます。

「賃上げ枠」設定事業～通常枠よりも補助率や上限額を引き上げ～ 従来の3事業から10事業まで賃上げ枠を拡大し、賃上げの促進を図る。

	事業名	補助内容	補助率・上限額	
			通常枠	賃上げ枠
1	公共交通EV車両導入支援事業	乗合バス、タクシー事業者のEV車両導入費への上乗せ補助	バス：補助率1/3 上限 車両 18,000千円など	バス：補助率5/12 上限 車両 22,500千円など
2	地域再生可能エネルギー導入推進事業	太陽光発電設備の導入費への補助	50千円/kwh	70千円/kwh
3	経営革新加速化支援事業	販路開拓や商品改良等の生産性向上や雇用拡大、付加価値向上対策経費への補助	補助率1/2 上限1,500千円	補助率1/2 上限2,000千円
4	おおいたクリエイティブ活用促進事業	クリエイターの力を借りた自社商品のリブランディング等経費への補助	補助率1/3 上限300千円	補助率1/3 上限400千円
5	中小企業等省力化・生産性向上支援事業【令和5年度12月補正予算分】	国の総合経済対策を活用した省力化設備導入等への上乗せ補助	省力化補助 補助率1/2	省力化補助 補助率3/4
6	宿泊業経営力強化加速化事業	バリアフリー化や業務省力化機器の導入費への上乗せ補助	補助率2/3 上限1,500千円	補助率3/4 上限2,500千円
7	外国人労働者受入対策強化事業	製造業分野等の外国人労働者が安心して働ける就労・住環境の整備費への補助	補助率1/2 上限500千円	補助率1/2 上限1,000千円
8	力強い農業経営体育成事業	農林水産業分野の外国人労働者が安心して働ける就労・住環境の整備費への補助	補助率1/2 上限500千円	補助率1/2 上限1,000千円
9	建設産業DX推進事業	業務省力化、生産性向上に資するICT建機導入費への補助	補助率1/2 上限1,000千円	補助率1/2 上限1,500千円
10	建設産業女性活躍加速化促進事業	女性が働きやすい就業環境を整備するためのICT機器の導入費への補助	補助率1/2 上限500千円	補助率1/2 上限750千円

要件：事業所内の給料・賃金等支給総額が事業実施前と比較して1.5%以上増加していること。

次代を担う子どもたちへの教育

遠隔教育システム構築事業として約1億円の予算が組まれました。

大分県下のどこに住む子どもたちも生徒自らの可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い高校教育を提供出来る環境を整備するというのです。

これまで3年間かけて、専門科目の授業を実施する学校から、地域の学校に商業や福祉、環境土木など多様な科目の遠隔授業を配信する取り組みをしてきました。'24年度からはこれまでの取り組みと併せて、大分市内に配信センターを設置し、そこから数学や英語などの授業を地域の学校に双方向型の習熟度遠隔授業として配信することを企画するとのこと。

人口減少が進む中で、高等学校の生徒数も激減しており、地域の高等学校の定数そのものの削減と併せて教員の配置も削減されています。小規模

の学校では教員の人数が少なくなるため基礎から応用まで深く教育したり、多様な科目を準備することが困難となってきました。

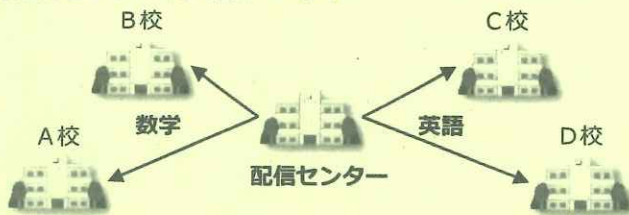
その様な状況下で、専門科目に長けた教師が遠隔教育システムを使って複数の高等学校の授業を受け持ち、基礎的なレベルから応用レベルまで生徒の理解度に応じた授業を行う様にするというのです。

このシステムがうまく機能すれば、高等学校を選ぶという意味合いがこれまでと異なってくるのかもしれない。自宅近くの学校で生徒一人ひとりの能力に応じた授業を受け、授業内容をよく理解しながら学ぶことで、これまで以上の学力向上につなげていけることが大切です。

大分市への一極集中により、長距離通学や家族と離れ遠隔地に居住するなどの負担を負う生徒がいます。生徒の多大な負担を取り除き、更に地域に根付く優秀な人材の育成が出来るのであれば、将来構想として、高等学校の在り方をどうすべきか子どもたちの思いを受け止めながら議論すべきと感じます。



〔配信センター方式イメージ〕



政治資金パーティと裏金問題について

県民クラブから「政治資金規正法違反事件の徹底解明と実効性のある再発防止策の確立を求める意見書」を提出しました。

派閥の政治資金パーティーを巡り、各議員にノルマを課して、それ以上の販売分についてキックバックして各議員の手元に残しながら政治資金報告書に記述せず裏金とした事件に、多くの国民が裏切られた思いを抱いたのではないのでしょうか。このケースは寄附をした方々の会計処理とパーティー実施団体、さらに中間的に関与した議員の会計処理を精査しなければ見つけることができない事件です。この会計処理だけを問題視して、処分を下していますが、これで片づいた訳ではありません。この裏金の使われ方が明らかにされ、政治家個人の私利私欲的なものであったのか、政策を進める上で必要なものであるにもかかわらず制度上は認められない支出とされているものであったのか、使われ方の状況に応じて対応策は異なります。

今回の事件が、全て悪意の私利私欲的な裏金で

あったことを既に認めた上での対応だとすれば、その旨をしっかりと述べて国民に謝罪すべきです。

裏金問題を掘り下げる議論については、政治資金の使途基準そのものを議論し、国会議員が国民生活を支えていく施策を研究し提言していくためにどの様な活動をしているのか、その評価も含めて議論を深めることが必要だろうと考えます。今回提出した意見書については、賛成少数で否決されてしまいましたが、今後の議論の進め方に注意を払わなければなりません。



▲意見書の採択模様。起立少数で、否決されました。

24年4月1日スタート

大分県パートナーシップ宣誓制度

パートナーシップ宣誓制度は、一方又は双方が性的マイノリティである二人が、お互いを人生のパートナーとすることを宣誓し、自治体が宣誓書を受領したことを証明するものです。受領証を提示することで、公営住宅への入居、公立病院での面会や手術の同意、犯罪被害者見舞金の申請・受領等の行政サービスを配偶者と同じように利用できるようにする制度です。

昨年度までに、パートナーシップ宣誓制度を導入している県内市町村は、大分市（23年9月）、日田市（23年1月）、臼杵市（21年4月）、竹田市（22年4月）、豊後高田市（23年4月）、豊後大野市（22年4月）でした。今年4月から宇佐市、佐伯市、由布市、姫島村と大分県が宣誓制度を導入。県が開始したことで、県内18市町村全てで行政サービスを利用できるようになります。

宣誓できる人は、一方または双方が性的マイノリティのカップルを対象として、以下の要件を課しています。①双方が成年に達していること。②いずれか一方が、県内に住所を有するか、又は3ヶ月以内に県内への転入を予定していること。③配偶者がなく、宣誓に係る相手方以外の者とパート

ナーシップ関係にないこと。④宣誓者同士が近親者でないこと（パートナーシップに基づき養子縁組をしている、又はしていたことにより当該関係に該当する場合を除く）。宣誓の流れについては下図に示すとおりです。具体的には大分県生活環境部人権尊重・部落差別解消推進課にお問い合わせください。

この制度の導入によって、性的マイノリティの方々の安心感の醸成や、暮らしの中の困りごとを軽減することが出来るわけですが、身体と精神とのアンバランスな状態を周囲の方々が理解できないと苦しい思いは続くのだらうと思います。様々な要因で生き辛さを感じる方々がいることに理解が深まる啓発活動が必要です。

また、豊後大野市についてはファミリーシップ宣誓制度も導入しており、パートナーの子どもを家族として愛情をもって育てることを支えるものともなっています。豊後大野市以外に日田市と宇佐市ではパートナーの子どもも氏名を並記できるようにしており、家族の在り方を親子で考える機会ともなると感じました。各市町村において住民の理解度に合わせて多くの住民が暮らしやすい地域となるように工夫と啓発に取り組んで頂きたいものです。

遺産相続などの法的な課題は解決されてはならず、被相続人の理解の下で生涯安心して暮らせる解決策が講じられるようにしなければなりません。誰もが心豊かに暮らせる大分県に近づくために制度の有り様についての議論を深めなければなりません。

宣誓の流れ

宣誓の事前連絡



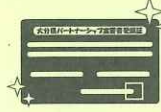
事前にネットまたはメールで連絡
→宣誓日時と方法を調整

宣誓書の提出



事前確認のため、必要書類を、県庁担当課に郵送または持参にて提出

宣誓(受領証の交付)



対面または、Web上で宣誓・本人確認要件を満たしている場合は受領証を交付

Web宣誓もできます！

※プライバシーは保護されますので、安心して連絡してください。

お知らせ

- ◇常任委員会は「総務企画委員会」に所属。
- ◇行政や暮らしの相談をお受けしています。お気軽にご連絡下さい。
- ◇グループでの集まりなどに、お声がけ頂ければ、日程を調整の上、参加させて頂きます。
- ◇守永信幸後援会の会員を随時募集しています。年会費3千円です。

連絡先：097-532-4919
FAX：097-534-6598

編集後記

流しそうめんの距離でギネス記録を更新した安倍美緒さんは、子どもたちに竹田のことを大好きになってもらい、一端外に出て、帰りたいと思って欲しいと話してくれた。▶周りには、大分には何もないと言う人が多い。本当に何もないだろうか。▶他所から来た人は、海と山と川を褒め讃え、食事に舌鼓を打つ。大分のことを好きと言ってくれる。▶子どもたちに、好きなものを好きと言おうと教えていない気がしてならない。